

大会名称: 福井しあわせ元気大会2018

第18回全国障害者スポーツ大会車いすバスケットボール競技

開催場所：福井県営体育館 メインコート

試合区分: No. 7 準決勝

期　　日：2018(H30)年10月8日(月)



主審：小野 裕樹

第1副審・紙本昌寿

第2副審：佐治 弘基

東京都 (東京都)	○ 69	10 — 10 21 — 17 18 — 7 20 — 11 — — —	● 45	岡山県 (岡山県)
---------------------	---------	--	---------	---------------------

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、両チームマンツーマンからのスタート。岡山は#6の早いボール運びから#4インサイドシュート、#11、#13が#6のドライブインから合わせ、得点

重ねる。一方東京は、徐々に流れを掴み、開始7分、#6ドライブインシュート、#14インサイドシュートで応戦、10-10の同点で終了。
第2ピリオド、両チームスピードあるバスケット展開を繰り広げる。東京は激しいディフェンスからステイルし連続得点をする。#6のカットイン、#14のインサイドシュートが決まり流れを寄せ付ける。一方流れを掴めない岡山は開始3分タイムアウトを取り、ボールを#4インサイドに集め追い上げる。終盤#6のバス

#5がゴール下に合わせるも、東京#4のフリーヒートで27-31東京リードで前半終了。
第3ピリオド、東京は#14インサイドシュートによる連続得点や、#13アウトサイドシュート、#15のドライブインで加点する。一方岡山は、#4インサイドシュートを決めて逆転を図る。東京#14のバスケットを止めることが出来ず、24-30東京リードで終了。

、#トライインで逆転を図るも東京#14のインサイドを正めることが出来ず、34-49東京リードで終了。
第4ピリオド、東京のオールコートディフェンスからのスタイルで一挙に得点を奪う。岡山はタイムアウトを取り、流れを引き戻しを図るも東京の早いバス

担当者・小竹原一嗣(1)

日本障がい者スポーツ協会 東海・北陸ブロック車いすバスケットボール連盟

